

令和2年度第6回理事会議事録

一般社団法人
静岡県建設コンサルタンツ協会

1. 開催日時 令和3年1月15日(金) 13時00分開会 14時45分閉会

2. 開催場所 協会会議室

3. 理事会開会

(1) 出席した役員等の氏名

理事 森崎祐治 芹澤秀樹 服部剛明 藤山義修 齋 秀之

小田秀昭 蓮池康彦 牧田敏明

監事 杉山 博 小田稔彦

事務局長 石原敏男

(2) 理事会成立の報告

事務局から、理事9名のうち8名が出席しており、定款第36条に基づき理事会は成立するとの報告がなされた。なお、浅岡理事については所要のため欠席するとの報告もなされた。

(3) 議事録署名人の選任

事務局から、議事録署名人は定款第37条の規定に基づき出席した会長及び監事となる旨を説明するとともに、議事録作成後の記名押印を依頼した。

(4) 会長挨拶

議事に先立ち、森崎会長から挨拶があった。

(5) 議長選出

定款第35条の規定に基づき森崎会長が議長に就任した。

4. 議 事

(1) 県の総合評価見直しについて

県交通基盤部建設技術監理センターの甲賀技術支援第2班長、佐藤主査が当協会を訪れ、「令和3年度の総合評価方式活用ガイドラインの改正内容」について説明があった。

改正の内容は、「優良業務委託表彰の評価基準を部長表彰、所属長表彰により評価を区分」、「簡易型I（実施方針）提案数の制限」の2点であり、今後、本年1月29日の「総合評価落札方式審査委員会」での審議を経て、5月中旬にガイドラインを公表し、6月1日から運用を開始するとのことであった。

(2) 県交通基盤部フォトコンテストの共催について

県交通基盤部から依頼のあった、令和3年度の「第3回土木・建築フォトコンテスト」の共催については受諾することとし、会長が応募作品の審査に協力するとともに、共催賞（協会長賞）を授与することとされた。

また、令和3年度からコンテストの作品募集期間が長期間（4月～8月）に変更されたことを踏まえ、四季にわたる写真の応募がなされるようよう、協会会員への事業の周知に努めていくこととされた。

(3) (一社) コンクリートメンテナンス協会主催のフォーラムの後援について

(一社) コンクリートメンテナンス協会から依頼のあった、令和3年度の「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム 2021（静岡フォーラム…令和3年8月20日開催予定）」の後援については、本年度に引き続いての依頼であり、会員の技術力向上にも寄与するものと認められることから受諾することとされた。

(4) 令和2年度予算執行状況について

本年度末の決算見込みについては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、技術研究発表会や賀詞交歓会など多くの事業が中止又は縮小されたため、「事業費」＋「管理費」の執行率は、前年度の93.0%を11.2%下回る81.8%であり、次期繰越見込額は前年度の186万円を154万円上回る340万円余となる見込みであること。また、次期繰越見込額である340万円余に対して、令和3年度の当初予算編成に必要な繰越額は190万円程度であり、年度末時点で150万円程度の余剰金が発生する見込みであることから、令和3年度予算の編成に際しては、この余剰金の使途について理事会で検討する必要があるとの報告があった。

報告の後、余剰金の使途に関する協議が行われ、以前から技術研究部会より作成の要望が行われている広報冊子について、企画内容等を明確に示すとともに概算見積を徴した上で、次回の理事会において令和3年度事業計画への採択の可否を判断することとされた。

(5) 令和3年度事業計画について

協会における年度内の事業執行の目安とするため、新たに令和3年度の事業計画書（素案）を作成したこと。また、計画書では事業執行に係る基本方針を定め、協会の事業を「法人の管理運営」、「委員会等の事業」、「行政機関等への協力」に体系化するとともに、取組内容を具体的に明記したものであり、今後、役員からの意見を頂いて次回の理事会において決定していくとの報告があった。

(6) 令和3年度技術研究発表会について

令和3年8月6日に開催を予定している第16回技術研究発表会の開催骨子（案）について、技術研究部会が作成した資料に基づき報告があった。

開催方法については、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮して、会場受講とweb受講を併用し、発表会場（グランシップ）も定員の半分程度の参加により実施する予定とのことであった。

なお、所要経費は、例年並みの64万円程度となる見込みであり、研究会の協会会員からの発表者については、令和2年度の発表会が中止になったことを考慮し、基本的には令和2年度の発表予定者とするとのことであった。

報告の後、事業内容に関する協議が行われ、当面は現在の骨子案をベースとして開催の準備を進めることとし、令和3年度当初の時点において新型コロナウイルス感染拡大の状況を見極めながら、開催の可否や方法について判断していくこととなった。

(7) 富士山火山噴火対応訓練について

国土交通省富士砂防事務所が主催する「富士山火山噴火対応訓練」が令和3年1月21日にオンライン方式により行われる予定であり、協会会員からは、国との間で締結した災害支援協定に基づき富士砂防事務所担当の幹事会社となっている、富士設計（株）、東海技術開発（株）、（株）富士測量事務所の3社が参加する予定であるとの報告があった。

(8) 県企業局との災害時における情報伝達訓練について

県企業局との間で締結している「災害又は事故における設計等業務委託に関する協定書」に基づき、令和3年1月14日に南海トラフ地震の発生を想定した、設計等業務の実施要請・応諾に関する情報伝達訓練が行われたとの報告があった。

(9) 災害協定の一元化について

小田理事（土木防災部会長）より、令和2年12月17日に開催された、大規模災害に対する災害協定業務の実施体制検討会（第2回）での検討結果について報告があった。

災害協定の一元化については、関係団体（当協会、県測量設計業協会）における理事会等での意見を勘案すると、現時点では時期尚早との結論となり、災害情報等の共有については現協定内で2協会が引き続き検討していくこととなったとのことであった。

なお、本年度における協定見直しの検討は第2回の検討会をもって終了したとのことであった。

また、当日に、県交通基盤部の主催、県測量業協会の協力により行われた「ドローンによる被災情報収集訓練」の概要についても報告があった。

(10) 報告事項

ア 県経済産業部農地局との意見交換会について（議事録）

令和2年11月13日に開催された、県経済産業部農地局との意見交換会の議事録が作成されたとの報告があった。

イ 会員の動静について

(株) ツルタコンサルタントの代表者が、令和3年1月8日に鶴田忠男氏から鶴田淳氏に変更になったことについて報告があった。

ウ 令和3年年賀状の送付について

毎年恒例となっている県知事への年頭挨拶及び関係部局への挨拶廻りが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止になったことを踏まえ、本年の年頭については、国及び県の関係機関等に年賀状を送付したとの報告があった。

エ 令和3年度の事務局体制について

森崎会長から、現在、協会事務局に勤務している職員1名について、本年度末をもって一旦退職するが、新型コロナウイルスの影響による事業の引継状況等を踏まえ、令和3年度の1年間、有期雇用職員（嘱託員）として採用することについて説明があり出席者の了解を得た。

議長は、議事運営に対する各理事、監事の協力に謝辞を述べ、第6回理事会を14時45分に閉会した。

以上の議事の経過及び結果を明らかにするため、議事録を作成し、定款第37条に基づき、議長及び出席した監事が記名押印する。

令和3年1月15日

議長・代表理事 森崎祐治 ⑩

監事 杉山博 ⑩

監事 小田稔彦 ⑩